

# 熊本県人権子ども集会に参加して

山西小学校六年村田柚絆

十月四日に県立劇場で行われた『熊本県人  
権子ども集会』に参加しました。初めての参  
加なので、最初はどんなことをするんだろう  
ときんちょうしていました。

集会で心に残ったのは、まず小学生の人たちの発表でした。この小学校は全校児童の人が六十人ほどだそうです。たてわり班での活動を通して、学年のちがう友だちを増やしていふことを発表していました。僕たちは山西小学校でもなかよし班での活動を行っています。そこはにているなと感じました。

山西小学校では定期的に「なかよし班遊び」の時間を設定しています。低学年の子どもたちと仲良くなることができてぼくも楽しく思っています。これからももっといろいろな学年の人気が仲良くなつていいくためになかよし班の活動を盛り上げていきたいと思っています。

発表をした小学校では、全校児童がさらに仲良くなるために、「ハートフルワー」という歌を作つてみんなで歌つていると言つていました。とてもすてきな取り組みだなと思いました。

特別支援学校の発表では自分の好きなことを書いて、他の学校の友だちと交流していることを発表していました。僕たちの山西小は、ことなりの河原小学校とも交流する機会がたくさんあります。修学旅行、ふるさと塾など知り合うチャンスはあるのですが、もつともつとおたがいを知つていくことも大切だと感じました。

最後に、高校生の人が発表をしました。とても大きな会場で、たくさんの人の中で、自分についていることや考えたことを話していくれました。たくさんの人前で自分の事を語りだと思うし、差別や偏見をなくしていこうといふ意志がとても感じられました。ぼくはつていふことは、とても勇気がいることだとと思うし、差別や偏見をなくしていこう

自分の事をふり返つてみて、高校生のゆうま  
さんのように、自分の事を語ることはまだで  
きていませんし、信頼ができる人にしか話す  
ことができないと思います。自分のこと  
を話すのはとても勇気のいる、でも大切なこ  
とだと思います。自分のことを語ることがで  
きたら、友だちと自分のちがうところやにて  
いるところも理解できるし、人に優しくした  
い、人に優しくされたいというような思いは  
同じなんだと気づくことができると思います。

熊本県人権子ども集会でたくさんのこと

学ぶことができました。この集会で学んだこ  
とを生かして、「結／＼輝き方は無限大」とい  
う集会のテーマにあるように、人と人のつな  
がりを大切にできるように、残りの小学校生  
活を送りたいと思います。